

低線量 Multislice CT による肺がん検診にて発見された肺結節検出のためのコンピュータ診断支援システム用のアルゴリズム開発に関する研究

1. 研究の対象

対象症例期間（2004年2月～2013年12月）のがん予防検診研究センターの検診受診者で検診受診と研究協力についての同意が得られ、かつ、肺がんCT検診を受検された方。

2. 研究目的・方法

目的：①イリノイ工科大学鈴木研究室との共同研究：1mmスライス厚のCT画像を用いたCADだけでなく、5mmスライス厚のCT画像を対象としたCADの開発を行います。②メイヨークリニックとの共同研究：肺腺がんの時系列のHRCTをメイヨークリニックが開発中の浸潤の有無を鑑別する画像解析ソフトウェアにて解析し、病理診断結果と比較しソフトウェアの精度評価を行うとともに、さらに診断能を向上させる改良を行います。

方法：肺結節検出のアルゴリズム開発のために、無作為に開発用と評価用のCT検査を選択します。CT画像は個人情報管理室の画像匿名化システムにて匿名化し研究用ハードディスクに保存します。受診者の肺結節に関する文字情報（大きさ（mm）、肺結節の存するCT画像のスライス番号、肺結節のx、y座標、肺結節の局在する肺葉）もがん予防・検診研究センターの個人情報管理室にて匿名化してから研究用ハードディスクに保存して、共同研究者に提供します。共同研究者において、肺結節検出アルゴリズム開発および画像解析ソフトウェアによる浸潤性腺がん、微少浸潤がん、上皮内癌の鑑別を行い、鑑別診断の結果を国立がん研究センターにて評価します。

研究期間：研究許可日～2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、CT検査日、HRCT画像のシリーズ番号、肺腺がんの2015年WHO分類、および臨床情報（年齢、性別など）

4. 外部への試料・情報の提供・公表

共同研究者へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究協力者

国立がん研究センター中央病院検診センター：小林 望、松田尚久

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科：松元 裕司

国立がん研究センター中央病院 病理科：元井 紀子、吉田 朗彦

国立がん研究センターがん対策研究所疫学研究部：山地 太樹

イリノイ工科大学：鈴木 賢治、メイヨークリニック：Tobias Peikert, MD

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

● 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 国立がん研究センター中央病院 検診センター

土田 敬明（研究代表者/研究責任者）TEL：03-3542-2511/FAX 03-3542-3815